

はばたけ

NO 40

1999年 / 月 / 日発行
 栃木障害者の自立をめざす会
 事務局：〒328-0123
 栃木市川原田町402-2
 中山全央 TEL0282-23-3236
 発行部 190名



会長 中山全央

新年あけましておめでとうございます。経済環境の悪化は私たちの心までも冷やす結果となっています。この一年、いかに精神を鼓舞しながら進めるか、大きな課題です。

先日、8年前の校外実習の時に撮影した写真がでてきました。当時は指導員もいませんでしたので、女性陣が指導員の役目をもって生き場々としている姿のものでした。与えん作りや、菓子作り、産物集、陶芸などの自主製品を作業の中心として、福祉ショップゆうの家と連携させて作業所運営を考えて、作業所を島田宅にしました。当初はそうした計画で出発したのだと思いますが、指導員の導入とフィルターの作業の金銭的難力や指導上の利点があると言う事から、この自主製品作りは徹底できませんでした。現在でも、私個人はこの方針をショップとリンクさせる活動として、もう少し統一した方針として堅持出来たならば、斬新的で今日の県授産センター運動の先頭にも立っていたと思っています。これも、狭い空間と仲間間の現状とを保障者、指導員、自立の会の皆さんと徹底的に討議をしてこなかった本会の力不足の結果が現状を作っていると思えます。

こうして開所5年目となる作業所は、3名から現在は17名となり、指導員が4名、ボランティア等を含めると現在では20名を越すものとなり、来年度の仲間が入所すると仲間だけで20名を越すこととなります。

1昨年になりましたが作業所移転の件で討議をしました。具体的になりませんでした。それは、私の緊要の糸が切れた結果と思っています。切れた糸を結んでいただけずその糸はそのままです。3年目を迎える作業所移転を本当に成功させるためには、私は、緊張の糸を結び、高めることから始めなければなりません。そうした中で授産施設建設と移転等々騒音を吐くつもりはありませんが、現状は本業を持つものが進めるにはあまりにも東河で、基礎知識が乏しく耐え切れぬ状況が出てきています。是非、皆さんが、必要と感ずる移転であるならば、意見、叱咤を頂きたいと思っています。

設計書から音上げなければならぬ現状は、早く抜きたい思っています。

是非、正念堂の建設建設の成功と、ゆうの家移転が成功できるようお力を貸していただけますようお願い申し上げます。

1999年ガスタートしました。昨年はチャリティー絵画展・ダンスパーティーの成功、授産施設建設委員会の開催など運動の前進、ゆうの家でも自主製品の竹細工と陶芸品が県の授産製品コンクールに入選するなど大きな成果がありました。この勢いを会費拡大をはじめとする大きな運動のうねりに変えて、来る2000年を迎えましょう。

第3回ふれあい大好きチャリティー ダンスパーティー

12月19日(土)

今回もSTOのすばらしい演奏でステキなパーティーを開くことができました。

《収益》 ・チケット売上げ 208枚
 ・お祝い 53,000円
 ・募金 6,000円
 収支合計 181,205円



はばたけコンサート1999

米良美一の夕べ

5月14日(金)

今年の大きなイベントとして、上記の取り組みがスタートしました(別紙参照)。施設建設・作業所整備に対する資金集めと運動の輪を広げていくためにも、ぜひ成功させましょう。皆さんのご協力をよろしくお願いします。

★ 会員特典として、1月24日まで予約申込みができます(一般販売は2月1日より)。申込み順とさせていただきますので、良いお席はお早めどうぞ。

妙唱寺・大黒天

(栃木市嘉右衛門町11-21)

7月16・17日

毎年自立の会では、会員による手打ちのうどん・そばを販売しています。とってもおいしいと評判ですので、ぜひお立ち寄り下さい。

今年もよろしくお願ひいたします



ゆうの家
 40年
 (12/20)40-1